

Q4

どうしても減らせないCO₂がある時は？

製造工程を工夫しても減らせないCO₂は、カーボン・オフセットという取り組みを利用する方法があります。カーボン・オフセットを利用すれば、他の場所で減らしたCO₂や、植林などにより森が吸収したCO₂を買い取って差し引くことが可能になります。私たちは、ものを買うときにカーボン・オフセットされた商品やサービスを選べば、間接的にCO₂削減に協力できます。

ものを選ぶことでも、地球の環境を守ることにつながるんだね。



簡単に参加できる取り組みの一つに「どんぐりポイント制度」があります。

私たちがどんぐりポイント製品を選ぶことで、環境にやさしい取り組みを行っている人たち(どんぐりポイントコミュニティ)を応援し、簡単にCO₂削減に協力できます。例えば、集まったどんぐりポイントを使って、省エネ型の設備の導入や植樹活動などを進めようとしている人たちを応援することができます。

<p>集めて</p> <p>どんぐりポイントが付いた商品を買って…</p>	<p>応募して</p> <p>どんぐりポイントコミュニティ等に持っていくと…</p>	<p>応援する</p> <p>みんなで集めたポイント数に応じ、交換商品が還元されたり環境活動へ寄付されます！</p>
--	---	---

集めたどんぐりポイントは、各地にあるどんぐりポイントコミュニティに持っていくことで、コミュニティが行っているエコ活動に貢献できたり、環境団体に寄付されます。

裏面へ ➡

新しい取り組みがはじまっています。



地球温暖化を防ぐ新しい取り組みとして、「どんぐりポイント制度」がはじまっています。

「カーボンフットプリント」という方法により「見える化」し、他の場所で減らしたCO₂で埋め合わせるカーボン・オフセットを行った商品やサービスには、その目印として「どんぐりマーク」が付いています。さらに、どんぐりマークの商品やサービスにポイントをつけ、集めたポイント数に合わせてさまざまなエコ活動や地域貢献活動を応援できる取り組みが「どんぐりポイント」です。消費者にとっては環境に良い商品を選ぶ目印になり、企業にとってはエコへの取り組みを世の中にアピールすることができます。

<p>120g CO₂</p> <p>CFP (カーボンフットプリント)</p> <p>商品の一生(つくる、使う、捨てる)で、排出されるCO₂の量を「見える」ようにする取り組みを、カーボンフットプリントといいます。</p>	<p></p> <p>カーボンフットプリントを活用したカーボン・オフセット</p> <p>CFPにより「見える」ようにしたCO₂を他の場所で減らすことをカーボン・オフセットといい、その目印として「どんぐり」のマークが付いています。</p>	<p>どんぐりポイント 10pt</p> <p>どんぐりポイント</p> <p>CO₂の排出量を減らしたどんぐりマークの商品やサービスに付いているポイントを集めると環境に良いことが起こる取り組みが「どんぐりポイント」です。</p>
--	---	---

どんな商品についているの？

どこに応募するの？

どんな企業が参加してるの？

さらに知りたい人はWEBへ
<http://www.donguripoint.jp/>

どんぐりポイント 検索

発行：どんぐり事業事務局

未来にきれいな地球を残すために



えらぼう！
どんぐり
ポイント製品

今、地球のCO₂の量が増えています

私たちの生活を支えている電気をはじめ、食べ物や洋服など、さまざまなものを作るために石油や石炭などの化石燃料が使われています。その結果、多くのCO₂が空気中に排出され、地球温暖化が進んでしまいました。CO₂を減らしていくにはどのような取り組みを行えばよいのでしょうか？

Q1

CO₂が増えると、地球はどうなるの？

CO₂は、地面から放出される熱を吸収する性質を持ちます。CO₂が増えると、空気中の熱も増え、地球全体の気温が高くなると言われています。工業の発達や生活様式の変化によって、CO₂が大量に排出され、地球が温暖化したと考えられています。

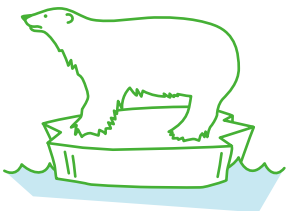
CO₂が増えると、大型台風やゲリラ豪雨、きびしい冬の寒さ、豪雪などの異常気象も起こりやすくなるんだって。



地球が温暖化すると...

北極の氷がとけ出す

北極の氷がとけ出したり、うすく割れやすくなったりします。氷がなくなると、ホッキョクグマが食べものをとる場所も減ってしまいます。



台風が強くなる

海面や地面の温度が上昇すると上昇気流が起こり、雨雲が発生します。これにより、台風が大型化したり、ゲリラ豪雨がたくさん発生すると考えられています。



大雪が降りやすくなる

冬でも海面からの水蒸気が増え、特に寒い地域では大雪が降りやすくなると考えられています。



Q2

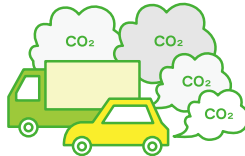
CO₂はどんなものから出ているの？

CO₂は、私たちの身近にたくさんあります。自動車から出る排気ガスにも含まれており、家庭で電気を使ってもCO₂は出ています。また、工業製品の製造工程や、工場から出る廃棄物の焼却もCO₂を排出します。

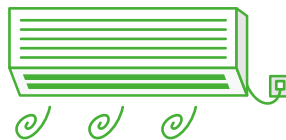
CO₂は、製品をつくる過程や、生活のなかからも出ているんだね。



車の排気ガス



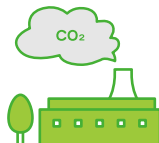
家電製品の利用



火力発電



工場から出る煙



廃棄物の焼却



今問題になっているのは、ものが燃えるときに出るCO₂が多いこと。工場や発電所で化石燃料を燃やしたりするので、空気中のCO₂も増えているんだ。このままだと、地球の気温がどんどん高くなってしまふよ。



Q3

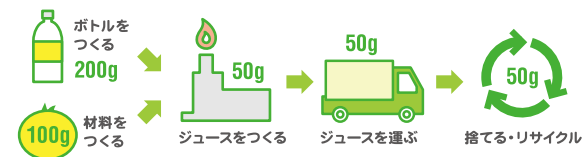
CO₂を減らすにはどうしたらいいの？

CO₂を減らすための取り組みの一つに省エネがあります。企業は、ものづくりの過程で使用するエネルギー（電気や燃料）の量を減らし、私たちは生活の中で、エネルギーの使用量を減らすように工夫します。そのほか、CO₂を出しにくい商品を開発したり、商品をリサイクルすることも、CO₂を減らす活動です。

例えば...

ペットボトルで考えてみると

ペットボトルのジュースは、原料をつくる場所から運ぶところ、捨てる場所など、さまざまなところでCO₂が排出されています。



※ここに書かれているグラム数は、それぞれの過程で排出されるCO₂の重さです。
※上記CO₂の排出量はイメージです。

それぞれで、省エネをすることで、CO₂を減らすことができます。

CO₂を減らすには、どこからどれだけCO₂が出ているのかを、ちゃんと知ることが重要なんだ。

